

これからのグローバル化のあり方 ー コロナ禍や米中分断の中で 日本はどうすべきか？ ー

戸堂康之

早稲田大学政治経済学術院教授
経済産業研究所ファカルティフェロー

コロナを機に世界経済の分断は進む

グローバル化に対する懐疑が急増

1. グローバル化で国内に経済ショックが流入
 2. グローバル化が安全保障の脅威に
 3. 外国（特に中国）に対する感情的な排他性の増幅
- ➔ これらをベースとした米中経済の分断（デカップリング）が各国を巻き込んで進行
- ➔ バイデン米新政権下でも大きな変化はない
- ➔ 日本はどうすべきか？

自己紹介

専門：国際経済学・開発経済学・日本経済論

- 最近の研究テーマ
どのような社会・経済ネットワークが
経済の成長や強靭性に寄与するか？
- グローバルな企業ネットワーク
- 地域共同体の絆

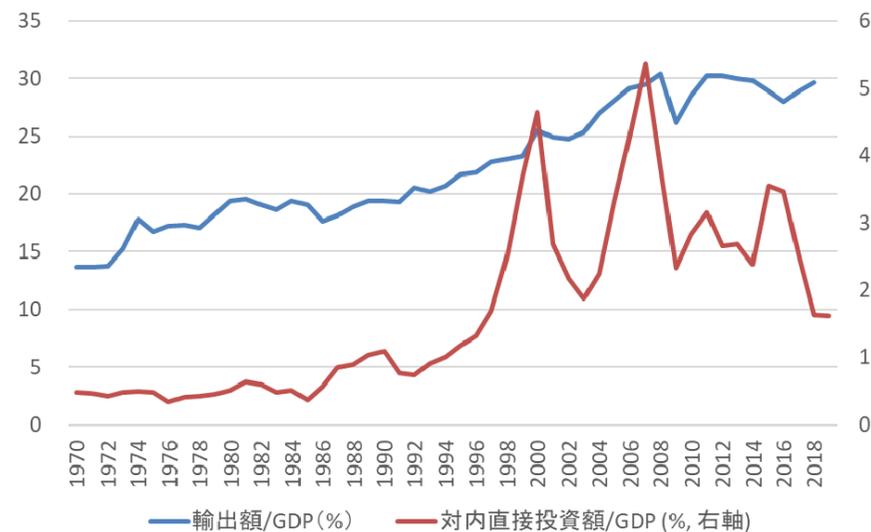
ウェブサイト：<http://www.waseda.jp/pri-yastodo/>

Facebook：<https://www.facebook.com/profile.php?id=100008389323270>

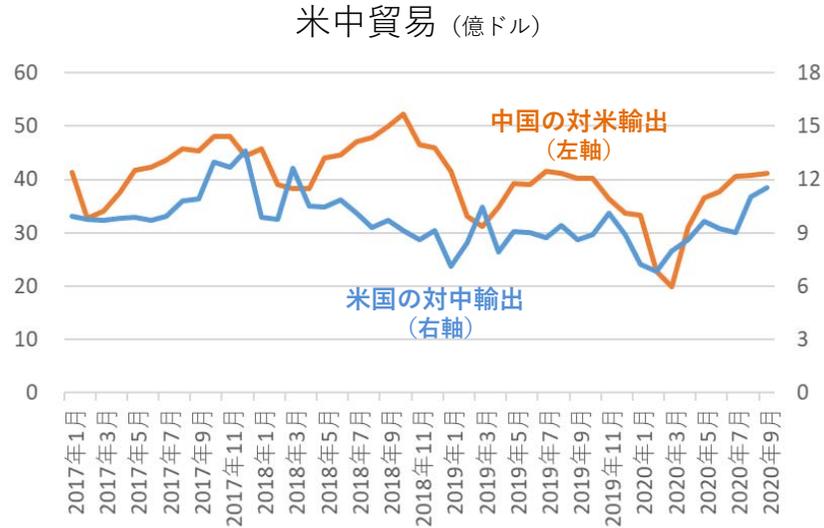
Twitter：[@yastodo](https://twitter.com/yastodo)

Eメール：yastodo@waseda.jp

リーマンショック以降グローバル化は停滞



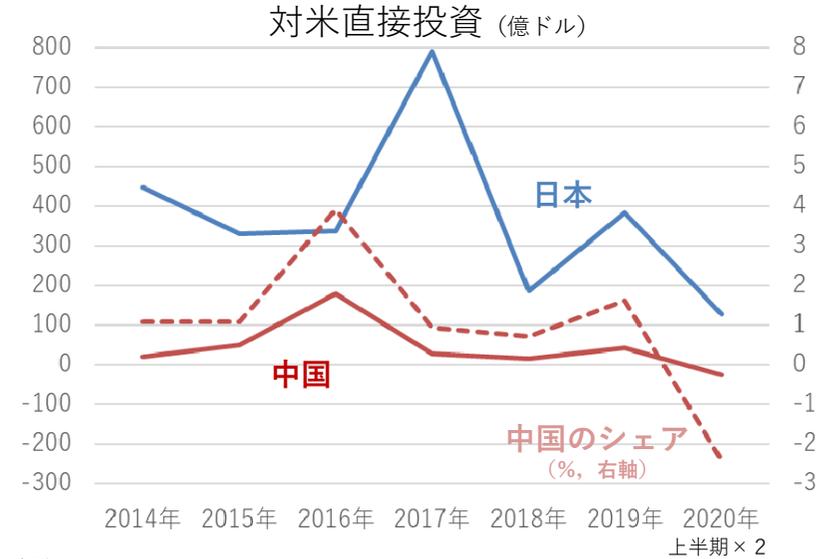
米中貿易は一時最盛期の約半分に→コロナで戻る



出所：United States Census Bureau

5

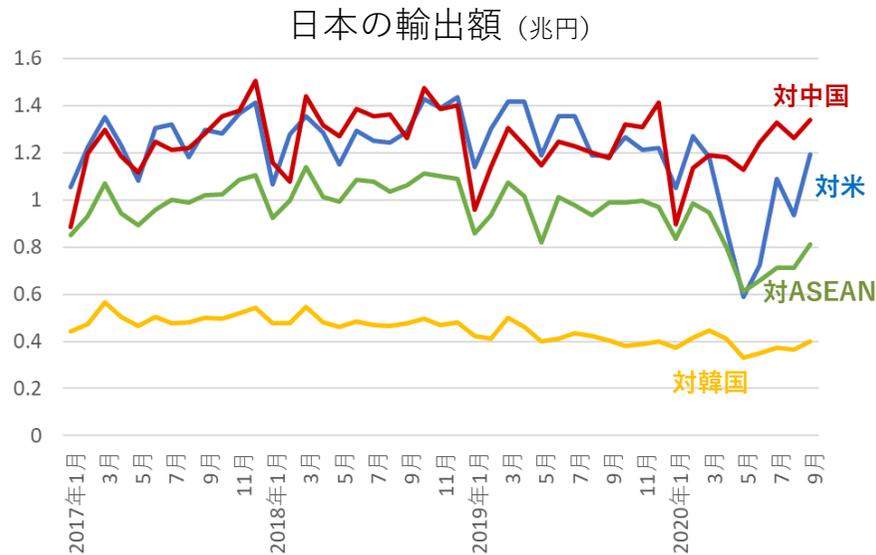
中国の対米投資はマイナス (新規投資<回収) に



出所：U.S. Bureau of Economic Analysis

6

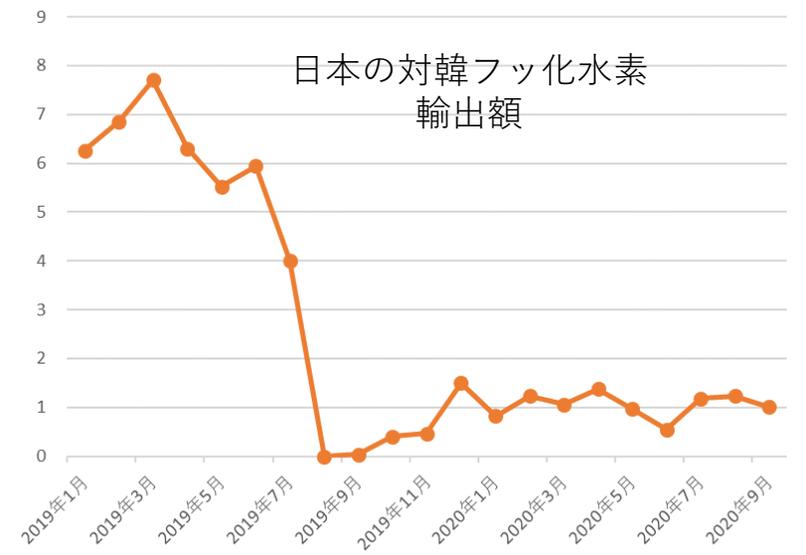
日本の輸出も減少傾向 (コロナ後に対中は持ち直し)



出所：財務省貿易統計

7

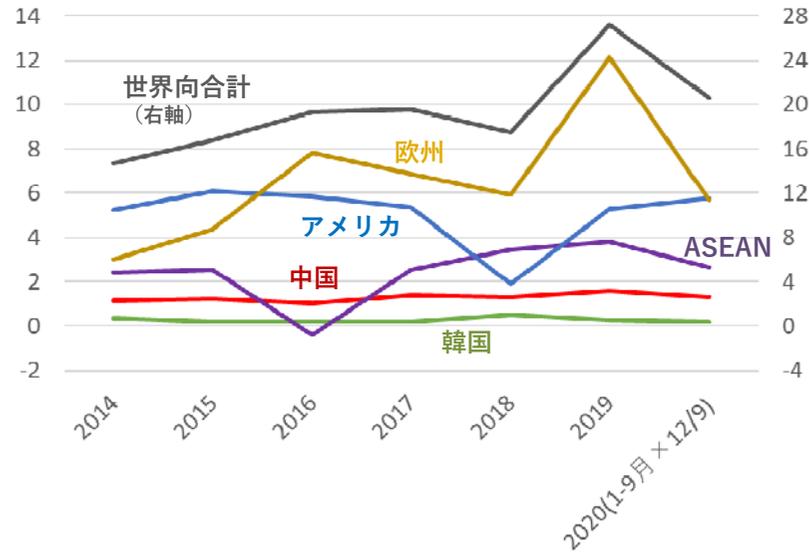
日本から韓国へのフッ化水素輸出は急減したまま



出所：財務省貿易統計

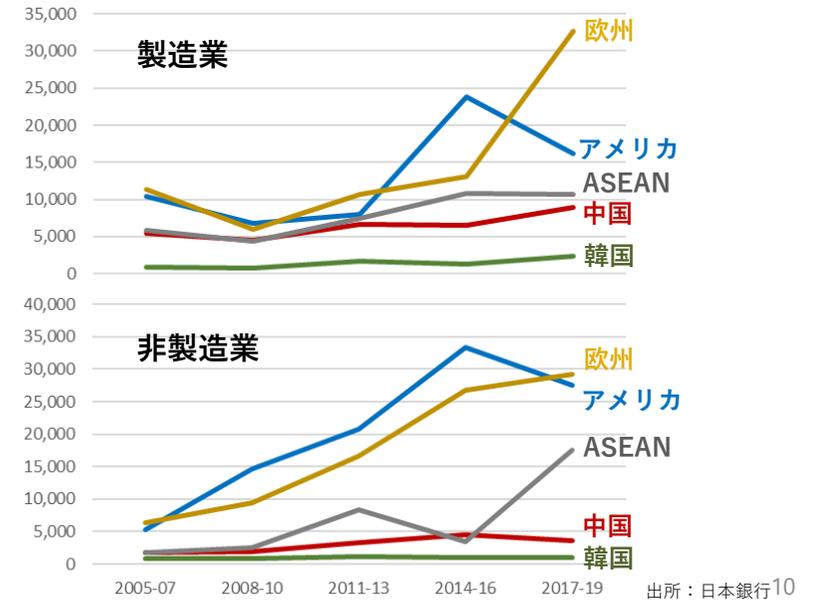
8

日本の対外投資（兆円，ネット額=実行-回収）は増加傾向



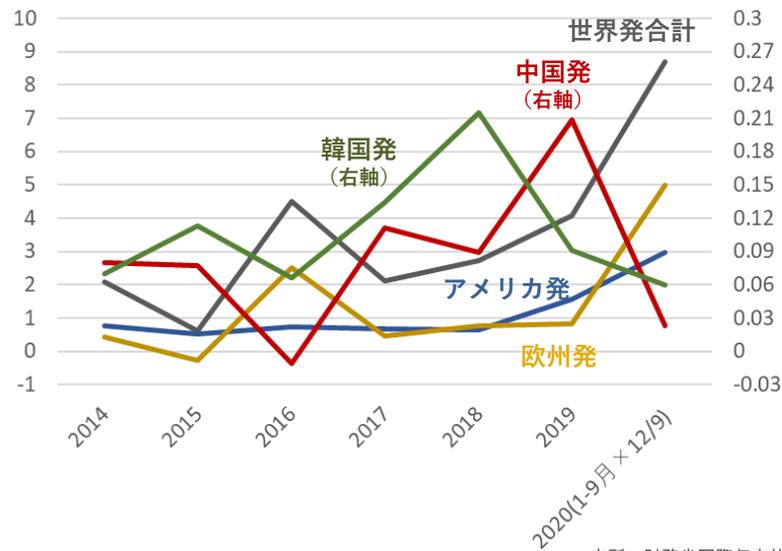
出所：財務省国際収支状況 9

日本の対外直接投資（億円）



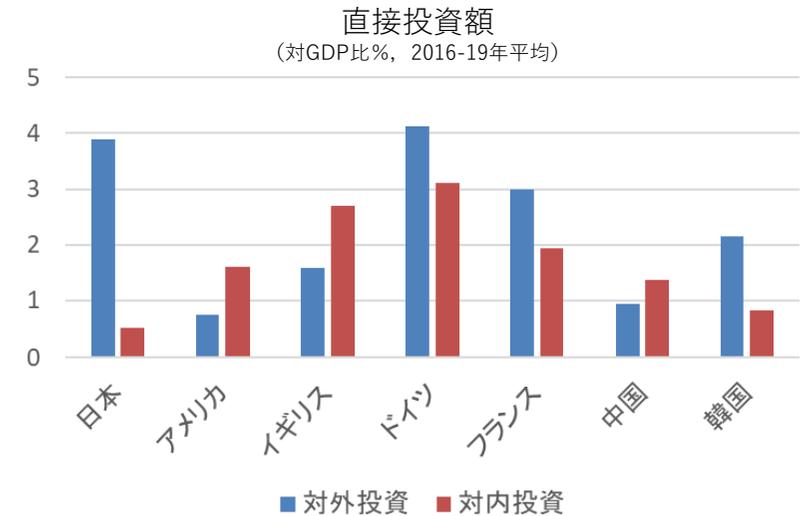
出所：日本銀行10

対日投資（兆円，ネット額=実行-回収）も全体として増加



出所：財務省国際収支状況 11

ただし、日本への直接投資は国際的には非常に少ない



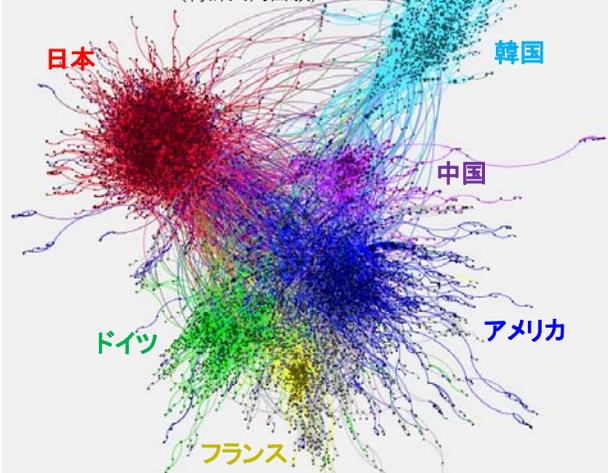
出所：世界銀行

12

日本の研究開発のグローバル化は不十分

企業の共同研究ネットワーク

(特許共同出願, 2011-13年)



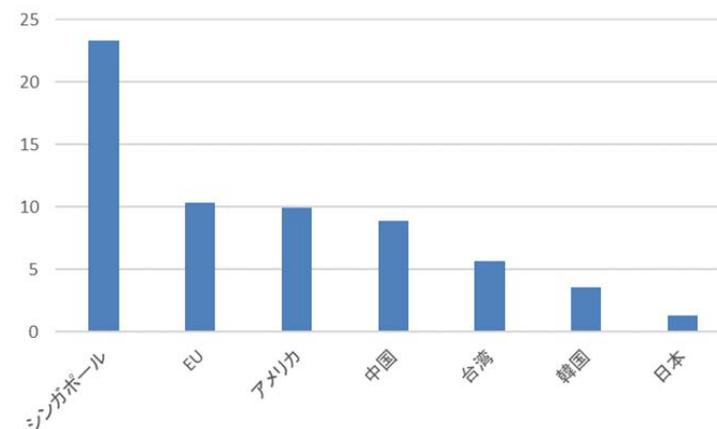
lino, Inoue, Saito, Todo (2020), Japanese Econ. Rev.

13

日本の研究開発のグローバル化は不十分

特許のうち国際共同研究によるものの割合

(%, 2012-15年)



出所: OECD Science, Technology and Industry Scoreboard 2017.

14

グローバル化は経済成長の源泉

- **輸出**の効果
 - 日本企業は輸出によって生産性が2%増大 (Kimura and Kiyota, 2006, Rev. World Econ.)
 - 賃金も上昇 (Tanaka, 2015, RIETI DP)
- **対外直接投資**の効果
 - 日本企業は直接投資することで生産性が2%増大 (Kimura and Kiyota, 2006, Rev. World Econ.)
 - 必ずしも国内雇用は減らない (Tanaka, 2012, RIETI DP)
- **対内直接投資**の効果
 - 外資企業が研究開発すると日本企業の生産性が上昇 (Todo, 2006, J. of Asian Econ.)
- **国際共同研究**の効果
 - 日本企業は国際共同研究でイノベーションの質を27%上昇 (lino, Inoue, Saito, and Todo, 2021, Jap. Econ. Rev.)

15

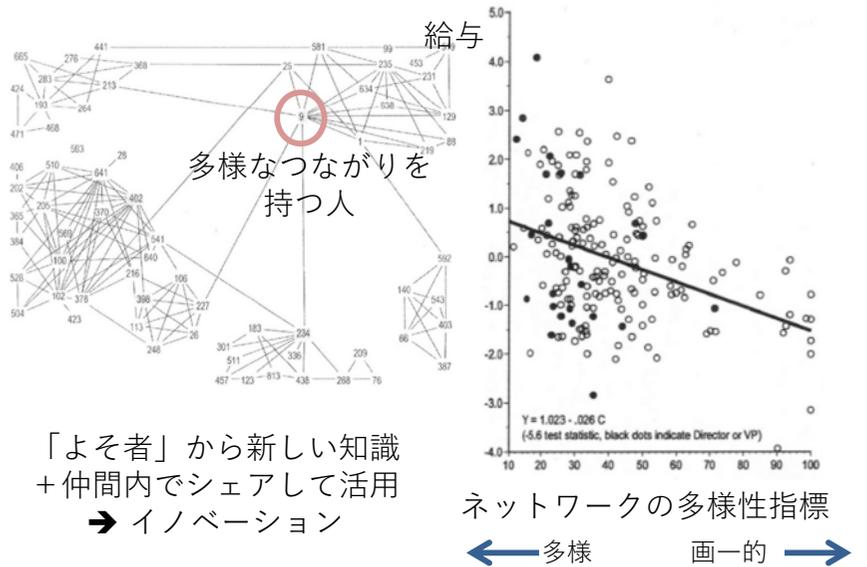
グローバル化の効果に関するエビデンスの例



lino, Inoue, Saito, Todo (2021), Japanese Econ. Rev.

16

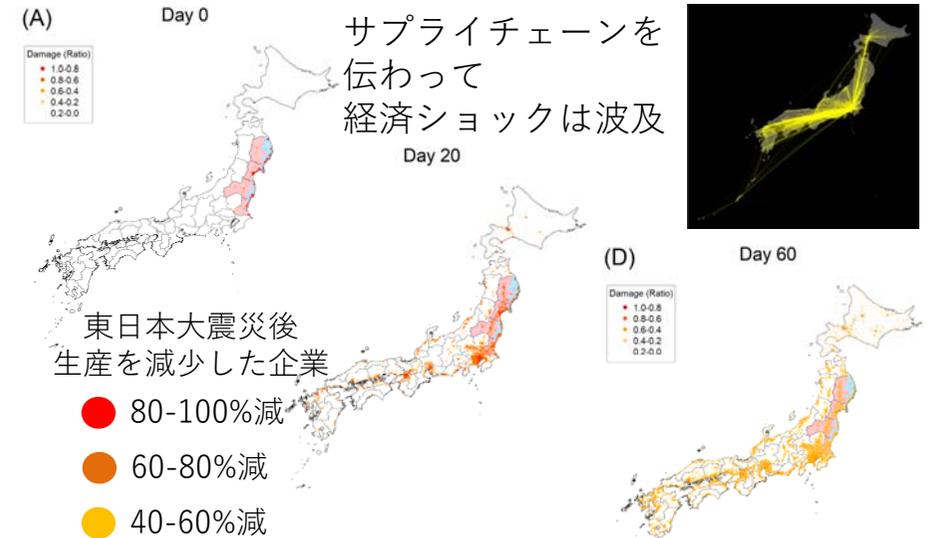
多様なつながりでパフォーマンスは向上



Burt R. S. (2004). Structural holes and good ideas. American Journal of Sociology. 110 (2), 349-99.

17

反グローバル化の要因1：グローバル化による海外から国内への悪影響の流入リスク増



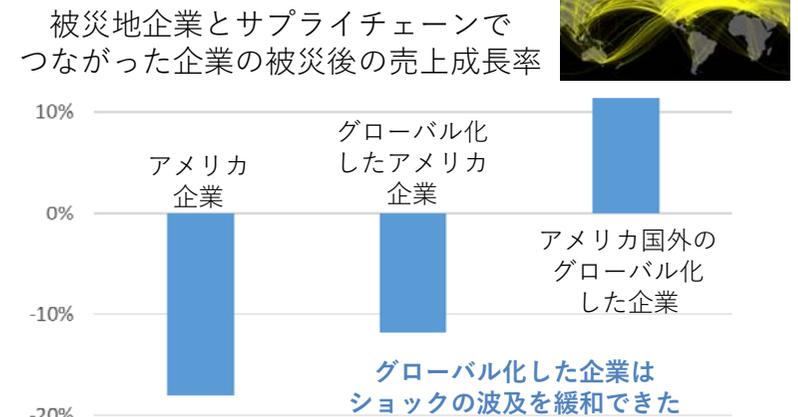
Inoue and Todo (2019), Nature Sustainability

18

コロナで海外生産のリスクが再認識

しかしグローバル化した（国際取引のある）企業はむしろ強靱

2012年に米東海岸を襲ったハリケーンの影響の波及



Kashiwagi, Todo, Matous (2018), WINPEC DP.

20

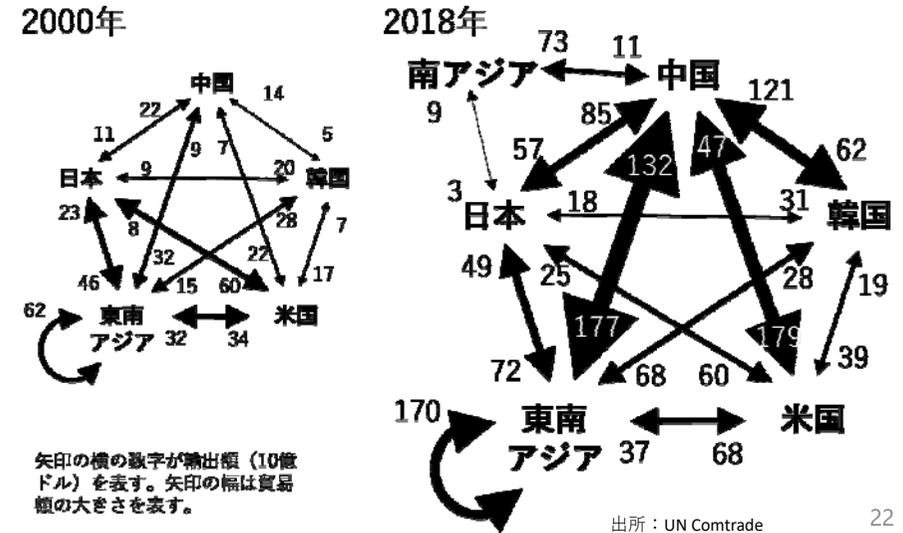
グローバルに取引先を分散・多様化することで リスクを軽減

- ある国・地域からの部品の供給が停止
ある国・地域の需要が縮小
→ 他の国・地域と取引があれば、
サプライヤー・顧客を代替することで
影響を最小限に
- グローバルにより**多様化**していくことで、
むしろグローバル化のリスクを軽減
- 国内回帰だと国内の災害時（南海トラフ地震など）の
損失が甚大

21

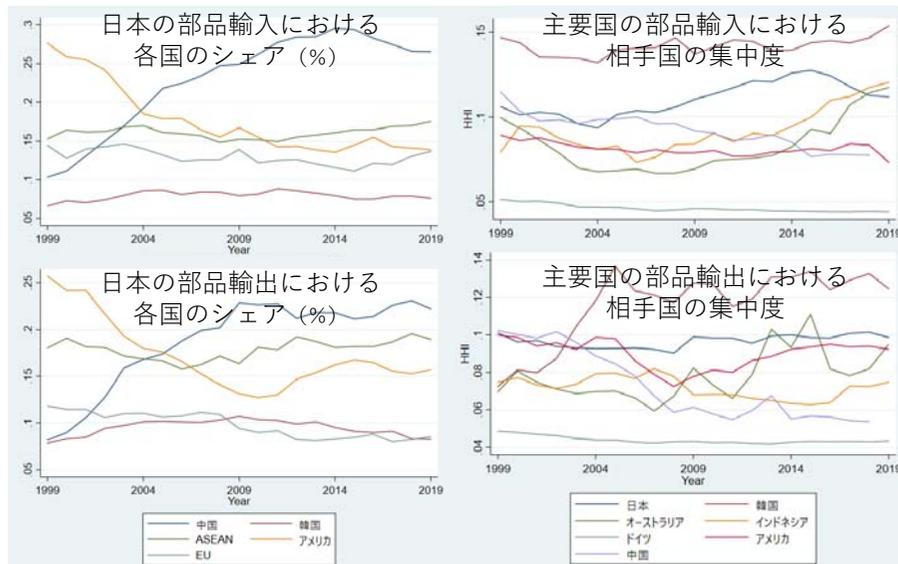
サプライチェーンの現状

アジア太平洋地域の部品貿易



22

部品貿易の現状



出所：UN Comtrade

コロナ禍で明らかとなった中国との貿易に伴うリスク

- サプライチェーン途絶のリスク
- 安全保障上のリスク
(およびそれに対するアメリカの対応に起因するリスク)
- 政治的な理由による貿易規制のリスク
 - オーストラリアがコロナ感染源調査を中国に要求
→ 中国は大麦・牛肉・ワイン・綿花・木材・石炭の豪州からの輸入を規制

24

サプライチェーンに関わる提案

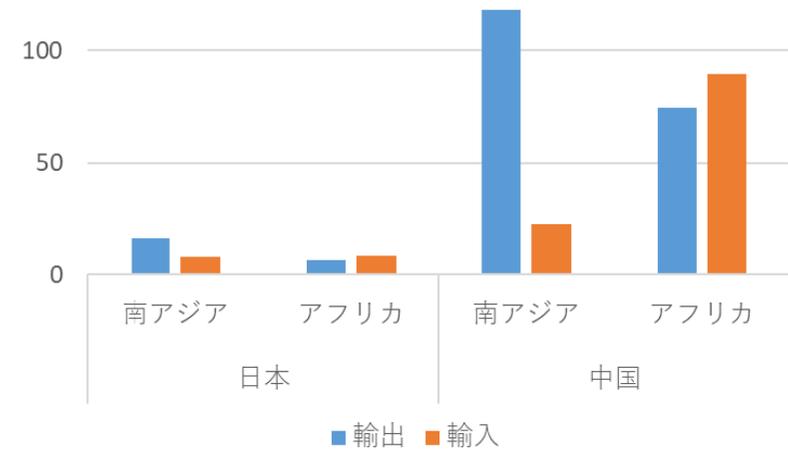
- 現状では中国・ASEANに大きく依存
 - 中国自身は、日米韓印ASEANと分散化に成功
- コロナ後はより多様なサプライチェーンの構築を
 - 中国依存を減らす
 - 生産拠点の国内回帰・ASEAN移転では効果が薄い



**提案1：南アジア、アフリカなどにも
サプライチェーンを拡張するとともに、
先進国（欧米豪星台等）と知的にもつながった
多様なグローバル・バリューチェーンを構築**

25

日中と南アジア・アフリカとの貿易（2018年、10億ドル）



World Integrated Trade Solution

26

先進国と多様で重層的なバリューチェーンを構築

- 途上国・新興国での生産のメリットの低下
 - 新興国における**人件費上昇**
 - 2008-18年までの賃金上昇率（三菱UFJ銀行, 2019, Area Report 514）
上海165%, ジャカルタ135%, ホーチミン153%
 - **ロボット化、IT・IOT化**による製造コストに占める人件費のシェアの下落
 - IT・IOT化による**データセキュリティ**の懸念
 - 中越露などでは、データを自国内のサーバーに保存する必要
 - CPTPP、日EU・EPA、日米デジタル貿易協定ではこれらの要求を原則禁止

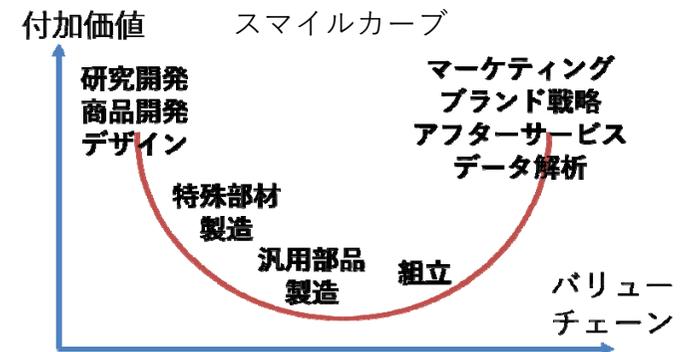


出所：Leduc and Liu, 2019, FRBSF Econ. Let. 27

先進国と多様で重層的なバリューチェーンを構築

サプライチェーンから**バリューチェーン**へ

- 製造・組立の前後の経済活動が高い付加価値を生む
- 高付加価値を生む活動こそグローバル化必要（現状不十分）
 - 海外展開し、貿易・生産だけではなく、現地企業・機関と知的連携（オープンイノベーション等）も



28

オールジャパンから脱却して国際連携を有効活用しよう

三菱重工スペースジェット（旧MRJ）の 事実上開発凍結

- 自前主義が原因？
- 外国人エンジニアを導入して挽回を図っても日本人と外国人との連携がうまくいかなかった

写真：三菱重工ウェブサイト
<https://www.mhi.com/jp/products/air/mrj.html>

29

多様で重層的なつながり構築のために何が必要か？

- つながり構築のコストを下げるために**政策支援**は必要
 - 国内回帰、ASEAN移転への補助ではなく、地域を限定しない企業展開への**情報支援・ビジネスマッチング支援**
 - ジェトロなどの企業に対するグローバル化支援は効果あり
 (Makioka 2020, RIETI DP, Kim, Todo, et al. 2018, World Econ.)
 - 「自由で開かれたインド太平洋」、CPTPPなどの**国際的な枠組み**を活用して、知的連携を促進
 - EUは国際共同研究に多額の補助
 - 国際協調を重視するバイデン米新政権に期待
 - 先進国からの**対日投資**（特に研究開発拠点）の促進
 - 対内投資規制が行き過ぎぬようなメリハリのある運用
 - 外資の研究開発拠点との産学・産産連携支援を

30

多様で重層的なつながり構築のために何が必要か？

- 売れる**技術**

トップ10%の論文数（科学技術指標2020）				
	1995-97年		2016-18年	
– 先端技術開発	米国	29,957	米国	54,950
	英国	5,556	中国	42,719
• 政策支援・大学改革に基づく産学連携強化	ドイツ	4,231	英国	18,839
	日本	3,939	ドイツ	15,464
– IT教育の抜本的改革	フランス	3,188	フランス	10,117
	カナダ	2,879	イタリア	10,009
	イタリア	1,787	オーストラリア	9,755
	オランダ	1,655	カナダ	9,495
	オーストラリア	1,440	スペイン	7,593
	スウェーデン	1,194	オランダ	7,016

 - 小中高教育
 - 大学での学び直しの機会提供 → 企業研修での利用
- つながるための**コミュニケーション能力**
 - 英語教育の抜本的改革
 - 大学入試改革主導の読む・書く・聞く・話す能力の引上げ
 （日本の英語力は世界170か国中146位 [ETS, 2017]）
 - 官民による留学支援

31

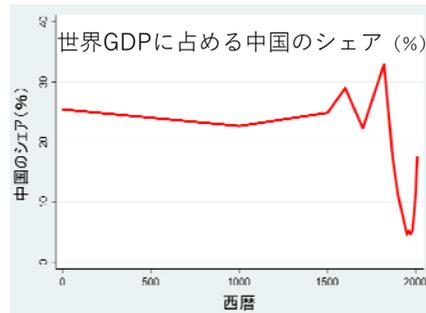
多様で重層的なつながり構築のために何が必要か？

- **ウィズコロナ・ポストコロナ**時代のつながり構築
 - 外出自粛、出入国規制で対面コミュニケーションが制限される
 - しかし、対面コミュニケーションはいまだに重要・必要
 - IT企業はなぜシリコンバレーに集積しているのか？
 - オンラインでは既存のつながりは維持・強化できても新しいつながり構築は困難
 - 米中のデカップリングでグローバル・バリューチェーンが再編
 → 既存のつながりの強化・拡張が軸に → 日本は不利
 - 既存の海外拠点（生産・販売中心）をフル活用して、高付加価値分野の連携につなげる
 - 既存の日系企業ネットワーク（商社・金融機関・公的機関）を活用
 - 過度な外出自粛や出入国規制はやめるべき

32

反グローバル化の要因2：安全保障に対する懸念

中国依存は減らすべきだが、
巨大な中国経済と分断するのは現実的でない



**提案2：安全保障上の脅威を減らしつつ、
中国と付き合いしていく**

33

安全保障の問題を緩和するには

- 経済と安保を切り分ける**国際ルール**が必要
 - どのような品目（例えばIT, AIなど）について
どのような状況（例えば安全保障上の脅威、感染症拡大など）においては**輸出制限**が認められるか
 - どのような業種についてどのような状況において**対内投資を制限**できるか
- ➔ 透明なルールを作ることで
 - 安全保障上の脅威に対処
 - 企業のグローバルな活動のリスクを下げ、
グローバル化による経済利益を確保

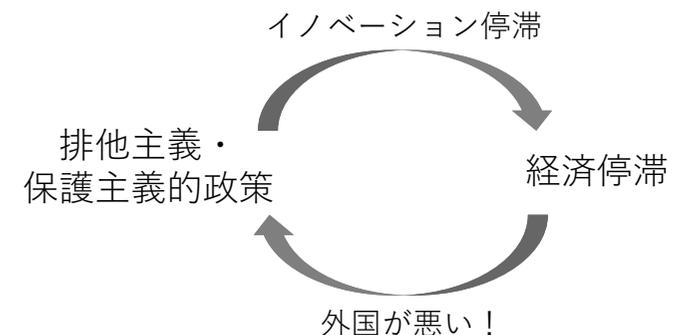
34

安全保障の問題を緩和するには

- 現状
 - WTO (GATT21条) ではあいまいに規定。しかも、安全保障例外は上級委員会でほとんど審議されてこなかった。
 - ワッセナー・アレンジメント (新ココム) では詳細に規定。が、限られた加盟国の紳士協定。
 - 各国が独自に規制を拡大
- じゃあどうするか
 - バイデン米新政権下でのWTO上級委員会活動再開に期待
 - 安全保障例外の基準が明確化？
 - **日中韓EPAや今度のCPTPP**で組み込めないか？
 - CPTPPや日米貿易協定で新しい自由貿易のルールを構築してきた**日本が主導すべき**

35

反グローバル化の要因3： 排他主義・保護主義と経済停滞の悪循環

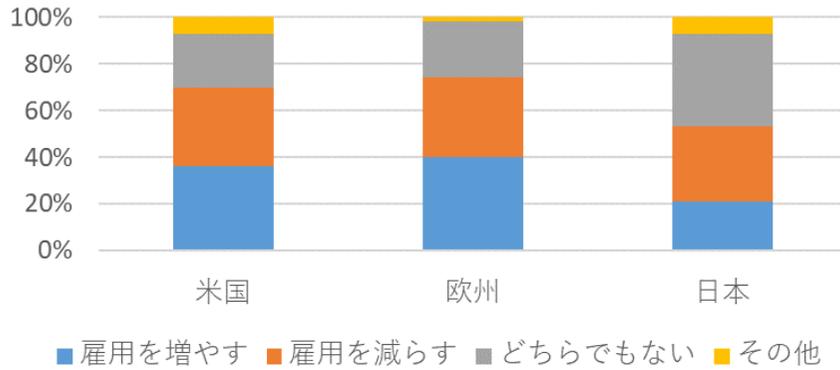


分断が経済的・安全保障上の損得を越えて
泥沼化する危険性

36

世界的に反グローバリズムが高まっている

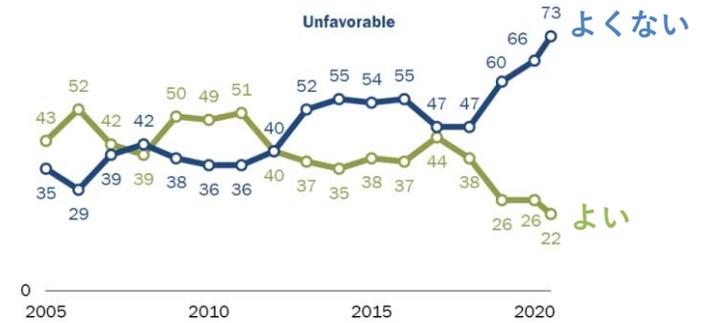
国際貿易は国内の雇用を増やすか



Pew Research Center (2018), "Americans, Like Many in Other Advanced Economies, Not Convinced of Trade's Benefits."

中国に対する感情的反発が強まっている

中国人に対してよい／よくない印象を持つ
アメリカ人の割合 (%)



Note: Don't know responses not shown.
Source: Survey of U.S. adults conducted June 16-July 14, 2020. Q8b.
"Americans Fault China for Its Role in the Spread of COVID-19"

PEW RESEARCH CENTER

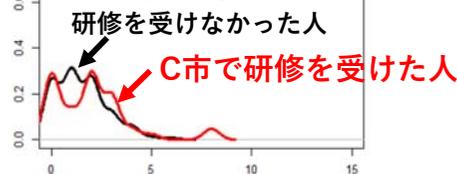
地域を越えたつながりの構築

インドネシアでの社会実験

A村の農民を無作為に選び、
A村、州都のB市、別の島のC市
で農業技術研修を実施



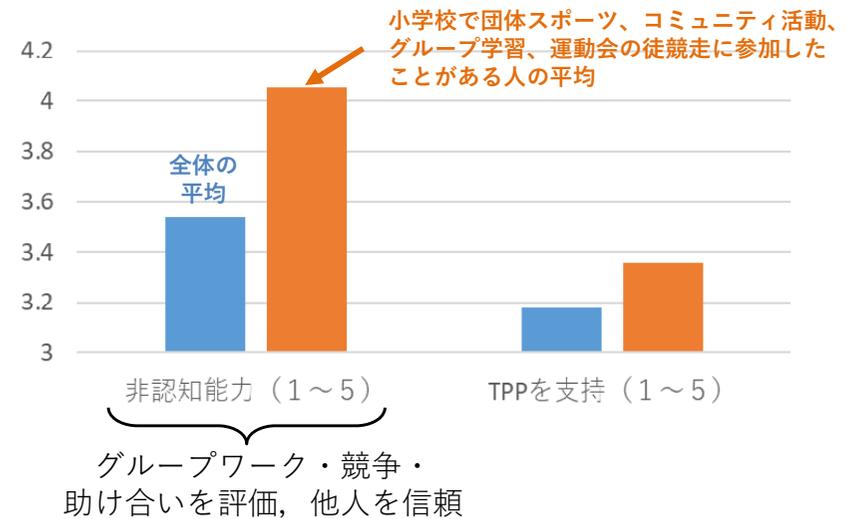
村外の情報交換相手の数の分布



遠隔地で社会経験
→ 地域を越えた
知り合いが増える

Matous and Todo (2015), Ecology and Society.

社会交流で人は変わる



Yamamura and Tsutsui. 2018. Review of International Economics.

排他性を乗り越えて冒険心を

- 7万年前インドネシアのトバ火山の大爆発
 - 地球が寒冷化
 - 多くの生物が絶滅
 - 交易圏を広げた人間が生き残った？
(Ambrose, 2010. Current Anthropology.)
- コロナ後、トランプ後を生き残るには多様性を尊重し、よそ者とつながろうとする冒険心が不可欠

図：USGS Hawaiian Volcano Observatory.

41

人間の本能的な排他性を軽減し、
冷静に経済的・安保的損得を判断するために

いろいろな人と出会い、切磋琢磨する経験が、
多様性を許容する人間を創る



提案3：国際交流（中国含め）は 絶やしてはいけない

- 特に子ども
- ビジネスパーソン、研究者、政治家、官僚も
- 財政支援（留学支援、海外展示会支援等）も必要
- コロナで国際交流が止まっている。早期の再開が必要。

42

まとめ

コロナ後には世界経済の分断が予想されるが、
グローバル化なくして経済成長はない。
ただし、ウィズ/ポストコロナへの対応必要。

1. 海外からの経済リスク流入
 - **多様で強いバリューチェーンの構築**で対応
2. 安全保障上の脅威
 - **経済と安保を分ける国際ルールの構築**で対応
3. 経済や安保上の損得を越えた排他主義
 - **国際交流の促進**で対応

43

